河東の授業

平成２８年度河東中学校授業診断がスタートしました。本年度の授業診断テーマは**『終末段階の充実』**です。なぜ終末段階なのか？次のような仮説をたてました。

仮説１：**終末段階がある**ということは、**適切な授業設計**がなされている。

仮説２：終末段階の**生徒の参加、集中度が高い**ということは、**生徒の学ぶ意欲や課題意識が連続**しており、**よりよい展開段階の学習活動や課題意識をもたせる導入段階**があったことが予想される。

仮説３：終末段階の工夫を通して生徒が**『わかった、できた』と自己の伸びを実感できる**

以上を検証し、終末段階からよりよい展開段階、導入段階の在り方を模索することを通して授業づくりのヒントを全教師で共有していきたいと考えます。

１１月１１日（金）脇田教諭（理科）１年３組

〇無駄な説明がなく、**キレ味爽快な説明**である

〇**学習プリントと板書がきちんと対応**しており、大変わかりやすい

〇十分な学習のまとめまで出来なかったが、少なくとも**「この５０分間で何を学習したか」**を振り返る必要がある

〇可能な限り、学習したことが**日常の生活の中で生かされるような発問**をしながら次時につなげる工夫が必要である

生徒にとってわかりやすい指示や説明は、生徒の参加、集中度を確実に持続させる